

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	ユネスコ国内委員会の連携強化			担当部局庁	国際統括官付		作成責任者
事業開始年度	昭和40年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際統括官付		国際戦略企画官 本村 宏明
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)			関係する 計画、通知等	-		
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	13-2 国際協力の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_13-2.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	加盟国(特にアジア太平洋地域)のユネスコ国内委員会職員等を日本に招へいし、関係機関への訪問、意見交換等を通じ日本のユネスコ活動への理解を深める。						
現状・課題 (5行程度以内)	本事業は、昭和40年度より、ユネスコ国内委員会職員を継続的に招へいしていたが、平成31年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、招へいを中断していた。令和3年度は初めてオンラインで交流を実施し、令和4年度には招へいを再開した。引き続き、日本のユネスコ活動の発展に資する協力関係の構築という点を重視し、戦略的にプログラムを実施する。						
事業概要 (5行程度以内)	アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等を我が国に招へいし、日本のユネスコ関係機関への訪問、国内委員会職員との意見交換等を通じ、日本のユネスコ活動への理解増進のための研修を実施する。						
事業概要URL	-						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	2.4	2.1	2.4	2.3	2.3
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	2.4	2.1	2.4	2.3	2.3	
	執行額(G)		0	0	2		
	執行率(%) =(G)/(F)		0%	0%	83%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		0%	-	83%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		国際交流・協力推進費		【主な増減理由】 実績に応じた職員旅費増。		
	(目)	招へい外国人滞在費	1	1			
	(目)	外国人招へい旅費	1	1			
	(目)	外国人研修生研究旅費	0	0			
	(目)	職員旅費	0	0			
	(目)	その他	0	0			
	計(A)		2.3	2.3			

活動内容① (アクティビティ)		アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等を我が国に招へいし、日本のユネスコ関係機関への訪問、国内委員会職員との意見交換等を通じ、日本のユネスコ活動への理解増進のための研修を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等の招へい	ユネスコ国内委員会職員等の招へい者数	活動実績	人	0	0	4	-	-
				当初見込み	人	5	4	5	5	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等を我が国に招へいし、日本のユネスコ関係機関への訪問、国内委員会職員との意見交換等を通じ、日本のユネスコ活動への理解増進のための研修を実施することで、協力関係を構築することにつながる。この協力関係を基礎に、各国におけるユネスコ関係国際会議への出席及び招へい国に関連する国際会議への参加等の機会が増加し、日本の取組についてユネスコ関係国際会議において普及を図ることに結び付くと考えられるため、出席したユネスコ関係国際会議数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		本事業等で得た協力関係を基礎に、日本の取組についてユネスコ関係会議において普及を図る。	招へいした国とともに参加するユネスコ関係国際会議数	成果実績	件	41	24	11	-	
				目標値	件	20	29	10	-	
				達成度	%	205	82.8	110	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		日本ユネスコ国内委員会総会資料「我が国のユネスコ活動」								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等の招へいによる意見交換等が、各国におけるユネスコ関係国際会議への出席等の機会を促進し、日本の取組について普及を図ることに結び付くため。								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

文部科学省
2百万

招へい外国人滞在費 1百万円
外国人招へい旅費 0. 8百万円
その他 0. 1百万円 を含む



【外国人滞在費、旅費】

A. アジア太平洋地域等の
ユネスコ国内委員会職員等
2百万円

アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員等を日本に招へいし、
日本のユネスコ活動への理解増進のための研修を実施。

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
招へい外国人滞在費	研修生の滞在に係る経費	0.2			
計		0.2	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

